

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j2950101	専門演習A	古川 哲也	2年次・通期	演習・2単位	卒業必修

授業の概要 / Course Outline
幼稚園教育要領に謳われている領域「表現」の理念をふまえて、子どもの完成を高めるための音楽教材について考える。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
幼稚園教育要領、保育所保育指針の内容を理解する。	A-② B-②
保育における音楽活動の意義について考える。	B-② D-①
指導案を書くことができる。	C-① D-②
論文を書くことができる。	B-② C-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	70%	学習内容の理解を問う
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	30%	授業態度

教科書 / Textbooks
幼稚園教育要領及び保育所保育指針

参考書 / Reference Books
授業中に適宜紹介する。

予習・復習 / Preparation・Review
授業で学んだことを踏まえ幼稚園教育要領・保育所保育指針を熟読し予習、復習(各90分)に活用すること。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回リアクションペーパーを課し、それにコメントをして返却する。

特記事項 / Special Note
文章を書く機会が多い。日頃から複数の新聞を読むことを勧める。(朝日新聞と産経新聞、読売新聞と毎日新聞など)

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション
	年間の授業予定と音楽教材学習の意義について考える。
02	保育における音楽史
	保育における音楽教材の変遷について考える。
03	教材
	教材の役割について考える。
04	保育者
	保育者と音楽のかかわりについて考える。
05	保育における歌(1)
	歌唱教材に変遷について考える(明治～大正)。
06	保育における歌(2)
	歌唱教材に変遷について考える(昭和～)。
07	保育における器楽(1)
	器楽教材の変遷について考える(明治～大正)。
08	保育における器楽(2)
	器楽教材の変遷について考える(昭和～)。
09	子どもと環境(1)
	現在の子どもを取り巻く音楽環境との関連から考える(子ども向け番組等)。
10	子どもと環境(2)
	現在の子どもを取り巻く音楽環境との関連から考える(ポップ、歌謡曲など)。
11	子ども主体の音楽会
	保育における音楽発表会について考える。
12	保育者の関わり
	保育者援助のあり方について考える。
13	活動と環境
	音楽活動と音楽環境について考える。
14	指導案(1)
	年少児を対象とした指導案を作成する。
15	指導案発表(1)
	前週の指導案発表と講評
16	指導案(2)
	年中児を対象とした指導案を作成する。

17	指導案発表(2)
	前週の指導案発表と講評
18	指導案(3)
	年長児を対象とした指導案を作成する。
19	指導案発表(3)
	前週の指導案発表と講評
20	卒業論文(1)
	論文とは何かについて学ぶ。
21	卒業論文(2)
	卒業論文の書き方を学ぶ。
22	卒業論文(3)
	卒業論文のテーマを設定する。
23	卒業論文執筆(1)
	研究の動機を中心に執筆する。
24	卒業論文執筆(2)
	研究の目的を中心に執筆する。
25	卒業論文執筆(3)
	研究の方法を中心に執筆する。
26	卒業論文執筆(4)
	研究の結果を中心に執筆する。
27	卒業論文執筆(5)
	研究結果を中心に執筆する。
28	卒業論文執筆(6)
	参考資料を中心に執筆する。
29	発表(1)
	執筆開いた論文を口頭発表する。
30	発表(2)まとめ
	執筆した論文を口頭発表する。年間の学修内容の確認を行う。